

オアシス21 ビジョン2032  
(2022年12月)

- ◆ 栄公園振興(株)は、2002年10月のオアシス21開業以来、幅広い年代の方々に親しんでいただける店舗を展開し、音楽・スポーツ・娯楽などの多彩なイベントを企画・運営するとともに、安心・安全にご利用いただける施設として質の高い管理をすることで、魅力ある都市空間づくりや都心の活性化に貢献してきており、2022年に開業20周年を迎えることができました。
- 一方で、開業から20年が経過し、施設の老朽化が顕在化している状況にあります。また、今後の10年間を見据えると、リニア中央新幹線開業や民間再開発事業の進展、久屋大通公園の再整備等、名古屋のまち、栄のまちが大きく変化していきます。
- 引き続き栄公園振興(株)がオアシス21の管理運営を通じて名古屋の都心の活性化になくしてはならない役割を担っていくために、開業30周年となる10年後に目指す姿を「オアシス21 ビジョン2032」としてまとめました。

# ビジョン2032の位置づけ

「ビジョン2032」は、栄公園振興(株)の経営戦略方針の実現のため、長期(10年)の目指す姿を打ち出すものであり、一方、中期(5年)の経営戦略計画は、より具体的な取組み目標を示すものです。なお、経営戦略方針は、栄公園振興(株)の経営の根幹となる理念であり、ビジョンと経営戦略計画で共有します。

## 経営戦略方針

栄公園振興(株)は、オアシス21の管理運営を通じて栄地区の賑わいを創出し、名古屋の都心の活性化に貢献します。

ビジョン2032～10年後に目指す姿～

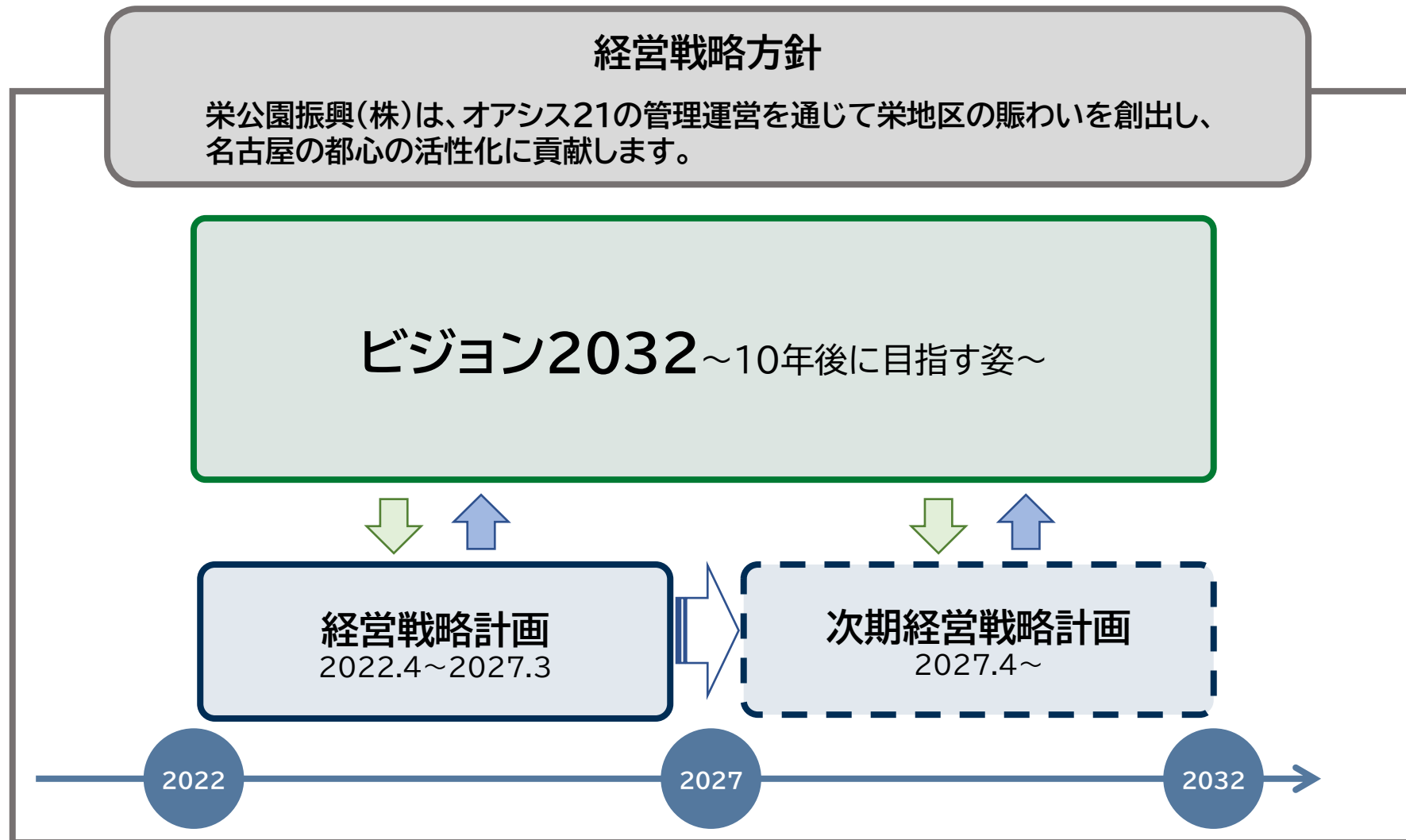
経営戦略計画  
2022.4～2027.3

次期経営戦略計画  
2027.4～

2022

2027

2032



# 10年後に目指す姿

オアシス21開業30周年となる2032年に向け、栄公園振興(株)が目指す姿(10年ビジョン)は次の3点とします。

栄地区の活性化・賑わい創出に  
さらに貢献する

第三セクターの特性を活かした  
安定的かつサステナブルな経営

地域との連携・共同を通じて  
栄地区の中心的存在になる

<今後取り組むこと>

- ◆ 時代及び多様なニーズに対応した店舗展開(テナント誘致等)
- ◆ 共生社会に相応しくかつ集客に繋がるイベントの企画・開催
- ◆ 大規模リニューアルへの対応
- ◆ 一括管理の継続及び管理水準の更なる高度化
- ◆ 迅速かつ的確な非常時対応を可能とする備え(リスクマネジメント)
- ◆ 未来への投資に向けた資金調達の準備
- ◆ 持続可能な組織体制の構築
- ◆ 積極的な行政課題の解決及び公共貢献
- ◆ オアシス21を核とした栄地区での地域貢献